

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

学校名	佐賀県立白石高等学校			
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「学力の向上」について、本年度は普通科3年生が国立大学に18名の合格者を出し、商業科3年生も進路達成100%であった。次年度は両キャンパスともに基礎・基本の定着を図りながら一層の進路実現を目指すとともに、キャリア教育の推進により自ら意欲的に学習に取り組む姿勢を育む。 コロナ禍で各種行事が計画通りに実施できなかった面もあるが、両キャンパスが連携してできる範囲で合同会議や合同行事を開催し、職員や生徒の「1つの学校」という意識が高まった。 3年間の「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」で培ったノウハウを活かし、次年度はSAGAコラボレーションスクールの重点校として、地域協働のさらなる展開とキャンパス制の特徴を活かした小中連携を展開する。 			
2 学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に未来を切り開く力を育成する学校 知・徳・体の調和がとれ、社会の一員として責任を果たすことができる人材を育成する学校 地域に愛され、信頼され、地域貢献のできる生徒を育成する学校 お互いを認め合い、多様性の社会をよりよく生きていく力を育成する学校 			
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 一体感を醸成する校務分掌の連携の推進 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進 総合的な探究の時間を通じたキャリア教育の充実 「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」の成果を踏まえた、SAGAコラボレーションスクールの展開 			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
●学力の向上	○生徒の進路希望に応じたきめ細やかな進路指導によりキャリア発達を促し、進路実現を達成させる	○キャリア教育アンケートにおいて、「進路について考えることができた」、「ある程度できた」と回答した生徒の割合97%以上	<ul style="list-style-type: none"> 各種進路行事を通して、自らの進路に関して考える機会を提供し、生徒自身のキャリア形成に対する理解を深める。 活動記録や学期ごとのキャリアパスポート記入を通して、自分の取り組みを振り返る機会を準備し、さらなる活動の進展へつなげる。 探究への取り組みを通して、地域との関わりや職業について体験をさせることで主体的に活動し学ぶ態度を育成する。 	進路指導部 各学年
	○主体的に考え行動する力を育成するため、また、学力向上のための授業改善に取り組む	○授業について、「満足している」と回答した生徒の割合90%以上	ICT機器の効果的な活用方法等、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて、各教科で研修を行う。	教育企画部 各教科
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権感覚を身に着けるための啓発活動や研修等へ参加したと回答した職員・生徒を95%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育講演会及びホームルーム活動をそれぞれ1回以上実施する。 授業や集会等で情報モラルに関する指導を1回以上実施する。 	教務部
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ対策(未然防止・早期発見・即時対応)について組織的対応ができていないと回答した教員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートを年3回実施し、実態調査を行う。 いじめ対策に関する職員研修を年に1回以上実施する。 週に1回、学年・生徒指導・教育相談担当等が情報共有を行い、連携を図る。 生徒会いじめゼロ啓発活動を行う。 	生徒支援部 (生徒指導・教育相談)
	◎郷土愛を醸成するための教育活動	○佐賀県や地域について学ぶ活動や講演会を実施し、佐賀県や地域に誇りや愛着を持っている生徒を90%以上にする。	「さがを誇りに思う教育講演会」や探究活動を通して地域の方々や企業等の代表者から話を聞き、佐賀県や地域の魅力を深める。	教務部(佐賀誇り)
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康であるために食事は大切である」と考える生徒を90%以上にする ○朝食を必ず摂って登校する生徒を85%以上にする	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、食育だよりと保健だよりを発行し、望ましい食習慣と健康との関わり、栄養と食品等について、情報発信を行う。 年に2回(5月と11月)に食生活アンケートによる意識調査を行う。 	生徒支援部(保健指導)
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	○防災について、高い意識を持っていると回答した生徒90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 風水害時の保護者の迎えの手順を文書で作成し周知する。 防災避難訓練を消防署立ち合いのもと実施する。 	生徒支援部(生徒指導) 教育企画(防災担当)
	○心身ともに健康で、文武両道の充実した生活環境をつくる	○本校の「部活動の活動方針」に基づき活動ができたと回答した教員85%以上 ○心身の健康維持・促進に積極的に取り組んでいると回答した生徒を85%以上	<ul style="list-style-type: none"> 放課後の時間の有効活用について、HR等で理解を図る。 各学年の部活内における立場を自覚させ、学校の活性化につなげる。 	生徒支援部(生徒会)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外在校時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> 事務ポータルシステムの活用と会議の削減を行う。 出勤システムの活用で、個人が時間外在校時間を管理する。 定時退勤推進日を設定し、効率的な業務遂行を推進する。 	管理職
	○職場の相談体制を整え、働きやすい職場環境を構築する	○働きやすい職場環境であると回答した教員の割合90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ゼロの日の服務規律指導時に、ハラスメント防止を徹底する。 校内のハラスメント相談体制を整え、相談に迅速に対応する。また、第三者相談機関を職員に周知する。 職員研修を年間2回以上実施する。 	管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
★SAGAコラボレーション・スクールとしての取り組み	○地域協働の更なる展開 ○キャンパス制の特徴を活かした小中高連携の展開	○学校運営協議会を設置し、年3回以上会議を開催する。 ○小中高連携の企画を拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターを採用し、受け入れの体制を整える。 「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」での取り組みを継続しながら、3年間を見通した計画を作成する。 	SAGAコラボレーション担当
○校舎制による円滑な学校運営の推進	○キャンパス間の連携・協力体制をより充実させる	○オンラインを活用しながら合同で行う会議・研修・行事を昨年度より増やすとともに、合同での開催方法の質を上げる。	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動で合同開催が可能なものはすべて合同で行う。 会議資料の整理を行うことにより、合同で行う会議・委員会の効率化と分掌業務の一体化を図る。 	管理職 主幹
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり				
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 			